

令和元年度(2019年度)

管理事業名	歴史文化まちづくりセンター事業			総合計画の体系	大綱 7 政策 2 施策 1	都市魅力 文化・スポーツに親しめるまちづくり 文化の振興
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 25 歴史文化まちづくりセンター費
部局名	都市魅力部	予算執行所属	文化スポーツ推進室			
予算大事業名	歴史文化まちづくりセンター事業					
事業の目的と概要		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名				
<p>【目的】 吹田の歴史と文化のまちづくりに関わる市民相互の交流と連携の促進を図り、地域に息づく歴史及び文化を保存し、発展させることにより、まちに個性、魅力及び潤いをもたらす、地域社会の発展に寄与することを目的としています。</p> <p>【概要】 歴史文化まちづくりセンターの施設管理運営 市民や団体への貸館業務 施設の特徴を活かした文化教養講座や季節行事、伝統芸能行事等の事業を実施</p>						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	成果指標の定義
貸館利用者・見学者・事業参加者数	人	27,281	26,408	25,575	貸館利用者・見学者・事業参加者数の合計
成果の説明	指定管理者による効果的な管理運営が行われており、貸館利用者・見学者・事業参加者数を合わせて毎年20,000人以上の利用があります。施設の特徴を活かした様々な事業が行われています。ボランティアの育成と活用を行っており、地域コミュニティの活性化と魅力あるまちづくりに寄与しています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	912	1,143	781	△362
経常収入				
在庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	102	75	84	9
経常収入 小計(a)	1,015	1,218	865	△353
給与関係費	4,315	5,069	5,360	291
物件費	23,759	23,747	24,343	596
維持補修費	656	3,732	649	△3,083
社会保障扶助費	-	-	-	-
経常費用				
負担金・補助金・交付金等	2,993	3,000	2,571	△429
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	11,639	6,530	6,066	△464
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	376	457	461	4
退職手当引当金繰入額	280	1,072	112	△960
支払利息	47	-	0	0
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	44,064	43,607	39,562	△4,045
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△43,049	△42,389	△38,696	3,692
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	151	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	151	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	△151	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△43,200	△42,389	△38,696	3,692
一般財源充当額	41,862	31,893	32,921	1,027
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△1,338	△10,495	△5,776	4,720

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
使用料及び手数料	新型コロナウイルス感染症の影響による施設使用料362千円の減
物件費	歴史文化まちづくりセンター指定管理委託料413千円の増
維持補修費	外構修繕649千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	1,015	1,218	865	△353
行政サービス活動支出	32,544	36,412	33,786	△2,626
行政サービス活動収支差額	△31,530	△35,193	△32,921	2,273
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	3,300	-	△3,300
財務活動支出	10,333	-	-	-
財務活動収支差額	△10,333	3,300	-	△13,633
収支差額 合計	△41,862	△31,893	△32,921	△1,027
一般財源充当額	41,862	31,893	32,921	1,027
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動支出)指定管理委託料23,201千円ほか
----------	-------------------------------

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
施設利用者1人あたりのコスト	平成29年度	27,281人	1,615円	歴史文化まちづくりセンター利用者1人あたり1,547円のコストがかかっています。新型コロナウイルス感染症の影響で利用人数は減少しましたが、維持補修費の執行額が少なかったため一人あたりのコストは減少しています。
	平成30年度	26,408人	1,651円	
	令和元年度	25,575人	1,547円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	
	令和元年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	457	828	371
未収金	-	-	-	地方債	-	367	367
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	457	461	4
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	758,577	752,511	△6,066	固定負債	7,953	7,292	△661
土地	673,923	673,923	-	地方債	3,300	2,933	△367
建物・工作物	84,655	78,589	△6,066	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	4,653	4,359	△294
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
固定資産	-	-	-	負債の部合計	8,410	8,120	△290
有形固定資産	-	-	-	純資産	750,167	744,391	△5,776
土地	-	-	-	純資産の部合計	750,167	744,391	△5,776
建物・工作物	-	-	-	負債及び純資産の部合計	758,577	752,511	△6,066
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	758,577	752,511	△6,066				

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

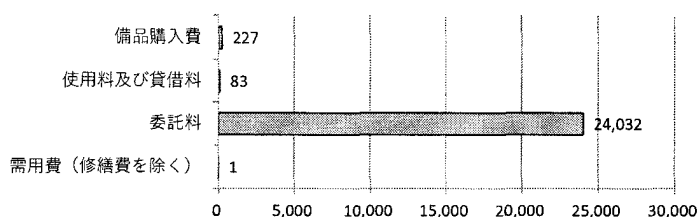
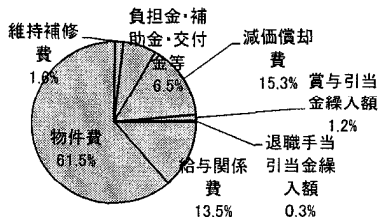
事業従事人数	常勤・再任用		非常勤	臨時雇用員	審議会委員等
	月平均	月平均	人	年間従事日数	実人数
	0.7人				5人
給与関係費等	5,807千円				126千円
内、時間外勤務手当	209千円				
					合計(千円) 5,933

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	歴史文化まちづくりセンター減価償却による6,066千円の減
地方債	償還払いにより367千円の減

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田歴史文化まちづくりセンター
取得年月日	平成15年(2003年)6月(供用開始)
建物・工作物の取得価額	264,550千円
建物・工作物の減価償却累計額	185,961千円
利用料金収入	781千円

▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			
		平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		0.2	1.4	0.2	△1.2
施設老朽化比率		65.5	68.0	70.3	2.3
受益者負担比率		2.1	2.6	2.0	△0.6
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		97.6	87.6	97.4	9.8
経常費用対公共資産比率		16.7	16.5	15.0	△1.5

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

物件費がコスト全体の61.5%を占め、そのうち施設管理に係る委託料が95.3%を占めています。
 減価償却費がコスト全体の15.3%を占めています。
 経常費用のうち58.6%は歴史文化まちづくりセンター指定管理委託料です。
 新型コロナウイルス感染症の影響で、来場者の減少、施設使用料の減少が今後も見込まれます。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

施設老朽化比率は70.3%となっており、もともとが古民家を改修した施設のため、施設の維持補修費の増大が今後も予測されます。
 しかしながら、本市の歴史と文化のまちづくりに対する施設の果たす役割は大きく、今後も新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を図りつつ、継続可能な事業のあり方を検討しながら、指定管理者と一層の連携に努め、事業を展開することにより市民満足度の高い施設運営を行ってまいります。